

## 第 13 回潮芦屋アクアスロン大会参加承諾書

(開催日:2022 年 9 月 4 日(日))

私は 第 13 回潮芦屋アクアスロン大会 (以下大会と略す)への参加にあたり、下記全事項を確認し、承諾の上、大会の参加申込みを行います。

- 1) 私は、トライアスロン競技を謳歌(おうか)するために、主催者、選手、支援者が共存するよう努めます。
- 2) 私の親族は、本承諾書のことを理解し、私の大会参加に同意しています。
- 3) 公益社団法人日本トライアスロン連合(以下、JTU)の諸規程、競技規則及び大会規程(ローカルルール)を遵守します。
- 4) 大会のコース設定や注意箇所など大会情報を理解し、不明瞭な点や不安となる点があれば、大会主催者(以下、主催者)に確認します。
- 5) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)2条2号」に掲げる者に該当していません。
- 6) トライアスロンまたは関連スポーツの経験があり、コース状況を見極めながら、自身の技量の範囲内で競技を行います。
- 7) 最近1年間に医師の健康診断を受け、競技において配慮すべきことは理解しており、自身のペースを守りながら競技します。
- 8) 大会は特設されたコースで行われるため、競技専用コースとは異なる状況が起こり得ることを理解しています。
- 9) 大会開催中、事故に遭遇し傷病が生じた場合であっても、直ちに救護できないことがあることを理解しています。
- 10) 大会開催中に競技が原因で傷病もしくは傷病による後遺症が発生した場合、または死亡した場合の補償は、主催者の重大な過失がある場合を除き、主催者が契約している保険の範囲内であることを承知しています。
- 11) 天災や気象状況の悪化など不可抗力による大会中止や変更があった場合には、主催者に対し大会参加のための参加費等の払戻し請求及びその他支出した費用の請求はしません。新型コロナウイルス感染症の状況によって大会が中止になった場合のみ、必要経費分を差し引いた額を返金することに同意します。また、大会延期などの場合は別途示される規定に従います。
- 12) 大会期間中の競技用具類の紛失・盗難または損傷に対し、主催者の重大な過失がある場合を除き、主催者に補償を求めません。
- 13) 肖像権及び個人情報(氏名、年齢、出身都道府県、所属先・競技歴・自己紹介内容等)に関して、大会関連の広報物及び報道・情報メディアなどによる広報的利用を認めます。大会の競技に関する抗議、上訴、不服申し立てについては、大会の管轄競技団体の競技規則に則り手続をすることとします。

※ 大会当日、未成年の方は、参加者と保護者の承諾が必要です。

年 月 日

参加者署名

⑩

保護者署名(未成年の場合)

⑩

## 【注意事項】

### 総合

- このしおりの内容(ルール・スケジュール)を十分理解していただくとともに、ご家族の方にもご理解いただき、ご家族全員でアクアスロンを楽しんでいただきたいと思います。
- オンラインの「競技説明会」を必ず受講して、ローカルルール、タイムペナルティの適用など重要事項を理解して参加してください。
- 大会には、パラ選手も参加し、一般の部の競技クラスの中で一緒に競技します。選手及び伴走の方々はトレーニングを積まれ競技運営とも打合せを行っており、審判員・スタッフは最善の注意を払っていますが、参加者の皆様も、競技中はご配慮をお願いします。

### 大会保険

- 参加全選手に傷害保険をかけていますが、保険の対象となるのは競技中の傷害事故(いわゆるケガ)で、急性心不全(心臓麻痺)等、疾患は対象となりません。下記内容を確認のうえ、補償が不十分と思われる方は各自において保険加入ください。
- 保険金額
  - ・死亡・後遺障害保険金額:500万円
  - ・入院1日5000円、通院1日2500円 熱中症危険補償特約付き(補償は基本契約と同額)

### 会場

- 大会会場へは最寄りの公共交通機関をご利用ください。  
選手受付は、芦屋市潮芦屋緑地東駐車場前の広場になります。
- 駐車場は「競技コース図」に記載された場所(芦屋市総合公園北駐車場等)をご利用ください。ただし、当日は一般利用者で大変混み合い、駐車場所が確保できず、選手受付時間に間に合わない恐れがあります。
- 競技前後の更衣は、会場に設営した更衣テントをご使用ください。
- 貴重品、手荷物は各自保管してください。トランジションには競技中必要な物以外は持込めません。また、荷物預かりはありません。
- 競技後のシャワーは、会場に設営したシャワー(温水なし)をご利用ください。
- 記録はスイムフィニッシュと総合フィニッシュの2ヶ所で計測します。足首に巻きつける計測用アンクルバンドを使用します。

### 選手受付

- 受付にてお渡しするものは下記の通りです。
- 参加記念品:フィニッシャータオル(フィニッシュゲートでお渡しします)、トランジション袋1枚、レースナンバーカード1枚、安全ピン4本、スイムキャップ、計測用アンクルバンド(受付横にて配付します。付け忘れに注意してください)
- レースナンバーカードは、個人は一人で1枚、リレーは1チームで1枚です。
- 計測用アンクルバンドにはレースナンバーを表示しています。ご自身のレースナンバーと一致しているか確認してください。
- ボディナンバーは油性マジック(太字推奨)で各自、左腕に縦書きしてください。

### 競技

- コースはクラスによって周回数が異なります。ご自身の参加されるクラスのコースをしっかりと覚えておいてください。競技規則ではコースを熟知する事が求められています。
- 競技のスタートは、ローリングスタートとなります。ご自身のスタート場所、時間を確認しておいてください。  
スタート時間の15分前にはスイムの用意をしてスイム会場の招集地点に集合し、整列してください。集合時間(スタート時間ではありません)に遅れると競技に参加できません。
- トランジションエリアへはレースナンバーカードが無いと入れません。
- スイムスタート前の更衣は、会場に設営した更衣テントで行ってください。  
スイム会場には、ウェットスーツ以外のもの(タオルやランで使うウェア、シューズ)を持ち込むことはできません。
- トランジションエリアには、レースナンバーを表示した用具入れの「カゴ」が設置されます。  
競技に使用する全ての用具は、「カゴ」の中に入れてください。ただし、ランシューズ(1足)は、「カゴ」前の地面に置くことができます。  
スイム競技後のウェットスーツやゴーグル、スイムキャップは全て「カゴ」の中に入れてください。

- 眼鏡はスイム計測テント横の眼鏡置き場に置いてください。
- 計測用アンクルバンドはフィニッシュ後に各自で回収箱に入れてください。必ず返却してください。
- リタイアする場合、またはリタイアになった場合、審判員にリタイアであることを申告して計測用アンクルバンドを渡してください。もし、渡し忘れがありましたら、大会本部に必ず返却してください。
- リレーの場合、スイム選手はトランジションエリアにあるリレーゾーンで、計測用アンクルバンドをラン選手に引き継いでください。ラン選手は、リレーゾーン内ではだして待機し、スイム選手からアンクルバンドを受取り、装着をしてからトランジションエリアの各チームのスペースへ移動し、ランシューズを履いてください。スイムが終わった選手は、各チームのスペースにある用具入れの「カゴ」の中に用具を収納してください。
- 体調が万全でない時には勇気を持って参加を辞退しましょう。

## 【競技規則】（ローカルルール）

（公社）日本トライアスロン連合(JTU)競技規則を基本とし、下記の競技規則(ローカルルール)により行います。よく読んでルールを理解して競技に参加してください。

### ◆大会競技規則とローカルルール

大会参加者は、(公社)日本トライアスロン連合(JTU)競技規則、ローカルルールにもとづき競技してください。

規則の違反に対しては罰則を適用します。罰則は、違反の程度により指導、タイムペナルティ又は失格のいずれかとします。

### ◆競技全般

- 大会実行委員会は、大会当日の気象条件等で安全に競技が出来ないと判断した場合、競技内容を変更、一部あるいは全部を中止することがあります。
- 大会日程で決められた時間(スケジュール)を厳守してください。遅刻した場合競技に出場できなくなります。また、やむを得ずスケジュールを変更する場合があります。その場合は大会本部にて告知しますので、確認するようにしてください。
- 第三者による特定の個人への援助(給水など)は禁止されています。競技中の選手への援助は大会主催者が用意したのだけです。
- 総合フィニッシュ時は、レースナンバーカードが確認できるよう整え、サングラスを外してください。
- 選手及び、パラ選手の伴走者以外の競技エリア(トランジションエリアを含む)への立ち入りを禁止します。
- スポーツマンシップを守り、マナーよく競技に参加して下さい。危険行為・他競技者への妨害・大会スタッフへの暴言等は、失格の対象になります。
- 競技途中でリタイアする場合は、すみやかにレースナンバーカードと計測用アンクルバンドをはずし、必ずリタイアしたことを大会本部または審判員(オフィシャルウェアを着ています)まで届け出てください。それ以外のコース誘導等の係員に届け出られても大会本部にはリタイアしたことが伝わりません。
- レースナンバーカードは競技中は常に前方から見えるように掲示してください。レースナンバーベルトの使用を推奨します。またはランウェアの前胸部に四隅をしっかりと止めてください。競技中にレースナンバーカードの変造、折り込みはペナルティの対象となります。また、めくれ上がっている、はがれている場合も審判員がその場で静止させ直させる場合があります。
- ランのフィニッシュ、折返し、周回チェック手前では十分に減速し大会スタッフの指示に従い、割り込みや追い越しをしないようにしてください。
- 競技中に、競技を終了した選手や応援の方がコース上を移動することはできません。特別な理由があり、横断する場合は、大会スタッフの指示に従い、競技中の選手に充分配慮してください。
- 完走者は記録証(完走証)を、後日、各自でWebから入手できます。
- 記録は大会会場に速報を掲示し、記録書の配布はしません。公式記録表は後日、大会のホームページに掲載します。

#### ◆スイム競技

- スイムのスタートはクラス毎(一般A・一般B・パラ)のローリングスタートです。スタートラインよりスターターの合図でスタートします。
- スタート前の招集は、各クラスのスタート15分前までにスイム会場待機場所で行います。
- 試泳はありません。スタート前のウォーミングアップは、各クラスのスタート5分前までに、審判員の指示に従って各自で行ってください。
- 大会支給のスイムキャップを着用してください。
- ウェットスーツの着用を推奨します。
- ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍測定器の使用は認めますが、その他のあらゆる用具の使用装着を禁止します。
- 周回数は競技クラスで異なります。一般Bは2周回しますが、周回チェックは行いません。2周回目はいったん砂浜に上がって折り返します。
- スイム競技をしないでラン競技をするスイムスキップを許可します。受付後に計測用アンクルバンドを受け取る際に審判員に申告してください。  
ただし、スイムスキップは完走にならず、参考記録となります。
- 一般Bの選手で、一周回を20分以上かかっている選手は制限時間とは別の安全上の措置から競技を中止していただきます。審判員・ライフセーバーの指示に従ってください。2周回は40分とします。一般Aの選手も同様に一周回20分です。
- 競技中、ブイやコースロープにつかまり、休むことは認めますが、ロープを使って進むことは禁止します。また、ライフセーバーのボードとチューブ及び監視ボートにつかまるとはリタイアの意思表示とします。

#### ◆ラン競技

- コース上は、左側通行です。
- 走る、歩く以外の方法では競技は出来ません。
- ランウェアを必ず着用し上半身はだかでは走らないでください。また、前開きおよび前ファスナー付きユニフォームは着用を許可しますが、必ずファスナーを閉じて競技してください。
- 一度フィニッシュした選手は、再フィニッシュはしないでください。また他の選手の応援・伴走等で再度コースに入らないでください。
- 総合フィニッシュの直前では本人確認のためサングラスははずし、レースナンバーカードの確認ができる姿勢でフィニッシュラインを越えてください。
- エイドステーションは、2か所設置します。

#### ◆トランジション

- レースナンバーを表示した用具入れの「カゴ」が設置されます。各自のレースナンバーの「カゴ」の位置が各選手のスペースになります。これから競技に使用する全ての用具は、この各自のスペース内に置かなければなりません。ランシューズ(1足)は、「カゴ」の前の地面に置くことができます。競技が終了して使い終わった用具は、全てこの「カゴ」の中に収納しなければなりません。スイム後のウェットスーツなどが「カゴ」の中に納まっていない場合はペナルティの対象となります。
- 指定のトランジションスペース内で着替えてください。なお、オープンスペースではみだりに裸にならないでください。
- トランジションエリア内は、選手・大会スタッフ以外の立ち入りは禁止です。
- 競技を終了した選手のトランジションエリア内の立ち入りは、他の競技中の選手に充分配慮し、大会スタッフの指示に従ってください。

#### ◆エイドステーション・その他

- エイドステーションでの紙コップ、ゴミなどは指定の場所で捨ててください。他の競技者や大会関係者、地域住民への安全確保のためコース上、コース脇に捨てないでください。

#### ◆リレー

- チーム毎に指定された場所で次走者に計測用アンクルバンドを渡してリレーしてください。2人の合計タイムがチーム成績となります。